

#### ○影響度【図6-14】

間違いが実施されたケースが7499例(73%)あり、また実施前に発見されたが、生命への影響度が大きく考えられた例が105件(1%)あった。

#### 7) その他(発生場面×発生内容・クロス集計)

##### ○発生場面×発生内容(オーダー・指示出し、情報伝達過程)【表7-1】

『オーダー・指示出し、情報伝達過程』では、「誤指示・情報伝達間違い」の頻度が最も高く(36.8%)、なかでも「オーダー・指示出し」359件(15.6%)、「文書による指示受け」234件(10.1%)の頻度が高かった。

##### ○発生場面×発生内容(与薬準備、処方・与薬)(再掲)【表7-2】

『与薬準備、処方・与薬』のなかで「内服」の「無投薬」の頻度が最も高く、2,181件(全体の14.5%)であった。次いで、「内服」の「与薬時間・日付間違い」が751件(4.9%)、「末梢静脈点滴」の「投与速度速すぎ」が737件(4.8%)、であった。

##### ○発生場面×発生内容(調剤・製剤管理等)【表7-3】

頻度の高い項目は、「内服薬調剤・管理」の「薬剤取り違い調剤」が355件(15.8%)、「数量・間違い」が201件(8.9%)、「注射薬調剤・管理」の「薬剤取り違い調剤」が187件(8.3%)であった。

##### ○発生場面×発生内容(手術等)【表7-4】

平成14年集計では「診察・治療等のその他エラー」の頻度が最も高く全体の50%を占めていたが、平成15年集計では「診察・治療等のその他エラー」の頻度が最も高いものの、全体の41.2%であった。そのうち発生場面としては「診察」、「術後処置」、「術前処置」、「リハビリテーション」の順で頻度が高かった。

##### ○発生場面×発生内容(処置)【表7-5】

「末梢静脈ライン」の「方法(手技)の誤り」、「不必要行為の実施」がそれぞれ24件、23件、「その他処置に関する場面」の「未実施・忘れ」、「方法(手技)の誤り」それぞれ44件、41件であった。

##### ○発生場面×発生内容(ドレーン・チューブ類の使用・管理)(再掲)【表7-6】

「自己抜去」が「栄養チューブ」1,098件、「末梢静脈ライン」804件、「中心静脈ライン」460件など合計3,430件で、全体の48.3%であった。次に「自然抜去」で、「栄養チューブ」、「中心静脈ライン」の順で多く合計819件(11.5%)であった。

○発生場面×発生内容（医療機器等の使用・管理）（再掲）【表7-7】

「人工呼吸器」、「輸液・輸注ポンプ」に関するものの頻度が高かった。「人工呼吸器」は「機器の点検管理ミス」75件（4.7%）、「条件設定間違い」55件（3.4%）であった。「輸液・輸注ポンプ」は「条件設定間違い」が106件（6.7%）で、これは『医療機器の使用・管理』で最も頻度の高い項目であり、以下、「設定忘れ・電源入れ忘れ」72件（4.5%）、「機器の不適切使用」53件（3.3%）であった。

○発生場面×発生内容（輸血）（再掲）【表7-8】

「輸血のその他のエラー」288件を除けば、「輸血検査のエラー」39件、「輸血検査」の「結果入力・入力間違い」が24件であった。

○発生場面×発生内容（検査）【表7-9】

「採血」が1,187件（34%）で、内訳は「検体採取時のミス」279件、「患者取り違え」が190件、「その他の検体管理・取り扱い」178件、他であった。次いで検体検査が多く、406件（11.6%）を占めていた。

○発生場面×発生内容（療養上の世話）（再掲）【表7-10】

「転倒」が5,831件（49.2%）で、その内訳は「移動中」1,617件、「患者観察」468件、「排泄介助」426件であった。次に、「転落」が1,634件（13.7%）であった。

○発生場面×発生内容（物品搬送等）【表7-11】

「検査データ管理」、「患者・家族への説明」が285件（20.4%）と同数であり、「検査データ管理」では「管理ミス」（260件）が最も多く、「患者・家族への説明」では「説明不十分」（159件）が最も多かった。次いで「検査・処置・与薬指示表」が215件（15.4%）であった。

以上

## 平成15年全般コード化情報集計結果

### 図表目次

#### 1) 全事例

- 図1-1 : 発生日 (全事例)
- 図1-2 : 発生日 (全事例)
- 図1-3 : 発生時間帯 (全事例)
- 図1-4 : 発生場所 (全事例)
- 図1-5 : 患者の性別 (全事例)
- 図1-6 : 患者の年齢 (全事例)
- 図1-7 : 患者の心身状態 (全事例)
- 図1-8 : 発見者 (全事例)
- 図1-9 : 当事者の職種 (全事例)
- 図1-10 : 当事者の職種経験年数 (全事例)
- 図1-11 : 当事者の部署配属年数 (全事例)
- 図1-12 : 発生場面 (全事例)
- 図1-13 : 発生要因 (全事例)
- 図1-14 : 影響度 (全事例)
- 表1-1 : 発生要因・詳細 (全事例)
- 表1-2 : 発生場面×発生内容
- 表1-3 : 発見者×当事者職種 (全事例)
- 表1-4 : 当事者職種×発生場面 (全事例)
- 表1-5 : 当事者職種×発生要因 (全事例)
- 表1-6 : 発生場面×発生要因
- 表1-7 : 発生場面×影響度

#### 2) 処方・与薬

- 図2-1 : 発生日 (処方・与薬)
- 図2-2 : 発生日 (処方・与薬)
- 図2-3 : 発生時間帯 (処方・与薬)
- 図2-4 : 発生場所 (処方・与薬)
- 図2-5 : 患者の性別 (処方・与薬)
- 図2-6 : 患者の年齢 (処方・与薬)
- 図2-7 : 患者の心身状態 (処方・与薬)
- 図2-8 : 発見者 (処方・与薬)

- 図2-9：当事者の職種（処方・与薬）
- 図2-10：当事者の職種経験年数（処方・与薬）
- 図2-11：当事者の部署配属年数（処方・与薬）
- 図2-12：発生場面・詳細（処方・与薬）
- 図2-13-①：発生内容・詳細（処方・与薬）
- 図2-13-②：発生内容・詳細（処方・与薬）
- 図2-14：発生要因（処方・与薬）
- 表2-1：発生要因・詳細（処方・与薬）
- 図2-15：影響度（処方・与薬）
- 表2-2：発生場面×発生内容（処方・与薬）
- 表2-3：発見者×当事者職種（処方・与薬）
- 表2-4：当事者職種×発生場面（処方・与薬）
- 表2-5：発生内容×影響度（処方・与薬）
- 表2-6：発生内容（患者間違い）×影響度（処方・与薬）

### 3) ドレーン・チューブ類の使用・管理

- 図3-1：発生月（ドレーン・チューブ）
- 図3-2：発生曜日（ドレーン・チューブ）
- 図3-3：発生時間帯（ドレーン・チューブ）
- 図3-4：発生場所（ドレーン・チューブ）
- 図3-5：患者の性別（ドレーン・チューブ）
- 図3-6：患者の年齢（ドレーン・チューブ）
- 図3-7：患者の心身状態（ドレーン・チューブ）
- 図3-8：発見者（ドレーン・チューブ）
- 図3-9：当事者の職種（ドレーン・チューブ）
- 図3-10：職種経験年数（ドレーン・チューブ）
- 図3-11：部署配属年数（ドレーン・チューブ）
- 図3-12：発生場面・詳細（ドレーン・チューブ）
- 図3-13：発生内容・詳細（ドレーン・チューブ）
- 図3-14：発生要因（ドレーン・チューブ）
- 表3-1：発生要因・詳細（ドレーン・チューブ）
- 図3-15：影響度（ドレーン・チューブ）
- 表3-2：発生場面×発生内容（ドレーン・チューブ）
- 表3-3：発生内容×影響度（ドレーン・チューブ）

#### 4) 医療機器の使用・管理

- 図4-1：発生月（医療機器）
- 図4-2：発生曜日（医療機器）
- 図4-3：発生時間帯（医療機器）
- 図4-4：発生場所（医療機器）
- 図4-5：患者の性別（医療機器）
- 図4-6：患者の年齢（医療機器）
- 図4-7：患者の心身状態（医療機器）
- 図4-8：発見者（医療機器）
- 図4-9：当事者の職種（医療機器）
- 図4-10：職種経験年数（医療機器）
- 図4-11：部署配属年数（医療機器）
- 図4-12：発生場面・詳細（医療機器）
- 図4-13：発生内容・詳細（医療機器）
- 図4-14：発生要因・詳細（医療機器）
- 表4-1：発生要因・詳細（医療機器）
- 図4-15：影響度（医療機器）
- 表4-2：発生場面×発生内容（医療機器）
- 表4-3：発生内容×影響度（医療機器）

#### 5) 輸血

- 図5-1：発生月（輸血）
- 図5-2：発生曜日（輸血）
- 図5-3：発生時間帯（輸血）
- 図5-4：発生場所（輸血）
- 図5-5：患者の性別（輸血）
- 図5-6：患者の年齢（輸血）
- 図5-7：患者の心身状態（輸血）
- 図5-8：発見者（輸血）
- 図5-9：当事者の職種（輸血）
- 図5-10：職種経験年数（輸血）
- 図5-11：部署配属年数（輸血）
- 図5-12：発生場面・詳細（輸血）
- 図5-13：発生内容・詳細（輸血）
- 図5-14：発生要因（輸血）
- 表5-1：発生要因・詳細（輸血）

図 5-15 : 影響度 (輸血)

表 5-2 : 発生場面×発生内容 (輸血)

表 5-3 : 発生場面×影響度 (輸血)

#### 6) 療養上の世話等

図 6-1 : 発生月 (療養上の世話等)

図 6-2 : 発生曜日 (療養上の世話等)

図 6-3 : 発生時間帯 (療養上の世話等)

図 6-4 : 発生場所 (療養上の世話等)

図 6-5 : 患者の性別 (療養上の世話等)

図 6-6 : 患者の年齢 (療養上の世話等)

図 6-7 : 患者の心身状態 (療養上の世話等)

図 6-8 : 発見者 (療養上の世話等)

図 6-9 : 当事者の職種 (療養上の世話等)

図 6-10 : 職種経験年数 (療養上の世話等)

図 6-11 : 部署配属年数 (療養上の世話等)

図 6-12 : 発生場面・詳細 (療養上の世話等)

図 6-13 : 発生要因 (療養上の世話等)

表 6-1 : 発生要因・詳細 (療養上の世話)

図 6-14 : 影響度 (療養上の世話等)

表 6-2 : 発生場面×発生内容 (療養上の世話)

表 6-3 : 発生場面×間違いの実施の有無及びインシデントの影響度

#### 7) その他 (発生場面×発生内容・クロス集計)

表 7-1 : 発生場面×発生内容 (オーダー・指示出し、情報伝達過程)

表 7-2 : 発生場面×発生内容 (与薬準備、処方・与薬) (再掲)

表 7-3 : 発生場面×発生内容 (調剤・製剤管理等)

表 7-4 : 発生場面×発生内容 (手術等)

表 7-5 : 発生場面×発生内容 (処置)

表 7-6 : 発生場面×発生内容 (ドレーン・チューブ類の使用・管理) (再掲)

表 7-7 : 発生場面×発生内容 (医療機器等の使用・管理) (再掲)

表 7-8 : 発生場面×発生内容 (輸血) (再掲)

表 7-9 : 発生場面×発生内容 (検査)

表 7-10 : 発生場面×発生内容 (療養上の世話) (再掲)

表 7-11 : 発生場面×発生内容 (物品搬送等)

## ヒヤリ・ハット事例収集事業

＝平成15年全般コード化集計結果（データ編）＝

## **全般コード化情報集計結果**

**(平成15年報告事例 51119件)**



# ヒヤリ・ハット事例収集 平成15年集計

## 全般コード化情報

### 全事例(単純集計・クロス集計)

図1-1. 発生月(全事例)

発生月	平成15年	平成14年
1月	3441	2009
2月	3606	2632
3月	3434	2128
4月	4117	2820
5月	4491	3447
6月	4276	3263
7月	5098	3214
8月	4633	2740
9月	4450	2400
10月	4792	3123
11月	4434	2978
12月	4203	2627
不明	144	143
合計	51119	33524

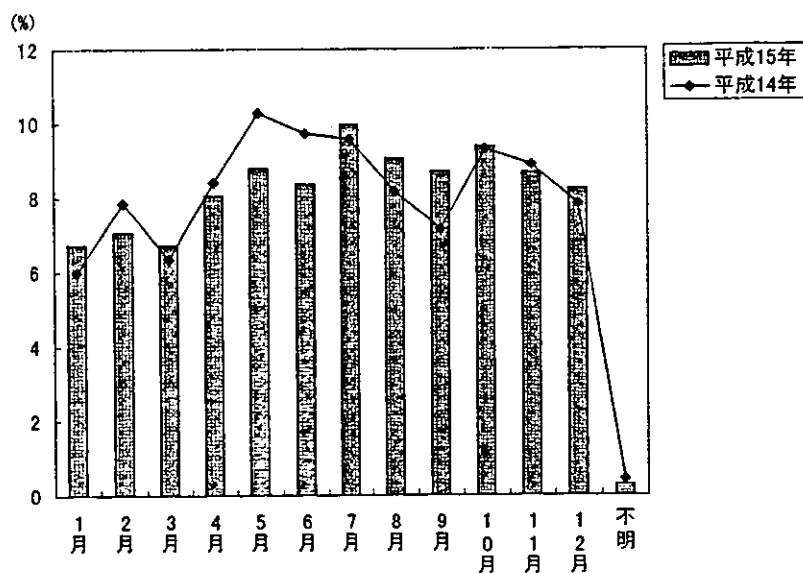
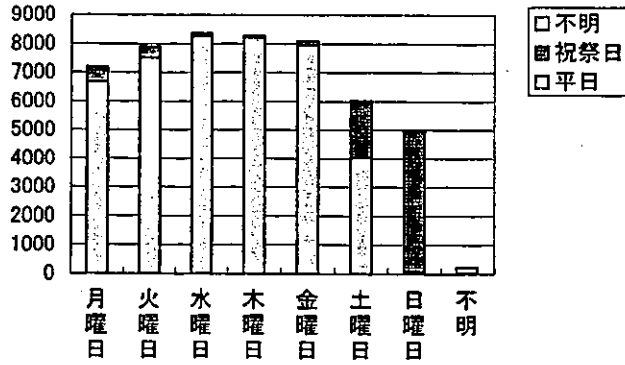


図1-2. 発生曜日(全事例)

	平日	祝祭日	不明	合計
月曜日	6692	500	0	7192
火曜日	7526	377	0	7903
水曜日	8270	105	0	8375
木曜日	8242	34	0	8276
金曜日	7976	120	0	8096
土曜日	4051	1988	1	6040
日曜日	84	4915	0	4999
不明	18	7	213	238
合計	42859	8046	214	51119



	平成15年	平成14年
月曜日	7192	4645
火曜日	7903	5414
水曜日	8375	5530
木曜日	8276	5386
金曜日	8096	5465
土曜日	6040	3718
日曜日	4999	3128
不明	238	238
合計	51119	33524

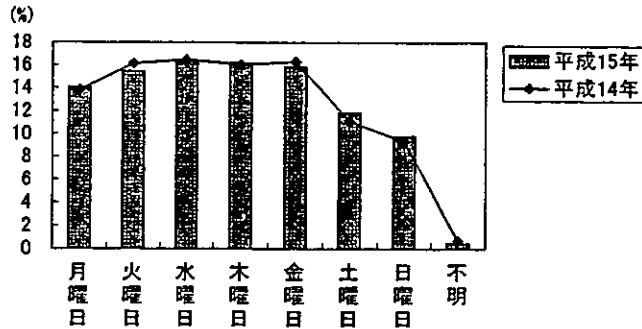


図1-3. 発生時間帯(全事例)

発生時間帯	平成15年	平成14年
0~1時台	2826	1652
2~3時台	1804	1286
4~5時台	1866	1195
6~7時台	3996	2733
8~9時台	6614	4536
10~11時台	6735	4562
12~13時台	5237	3334
14~15時台	4947	3197
16~17時台	4815	3093
18~19時台	4310	2711
20~21時台	3170	2012
22~23時台	2668	1707
不明	2131	1506
合計	51119	33524

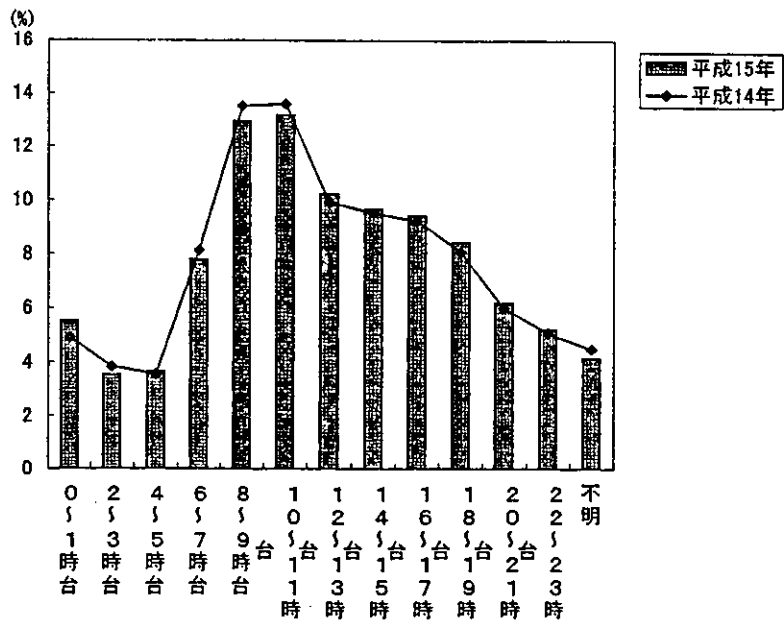


図1-4. 発生場所(全事例)

発生場所	平成15年	平成14年
外来診療室	761	599
外来待合室	95	59
外来その他の場所	555	427
救急処置室	168	104
ナースステーション	7721	4592
病室	27204	17828
処置室	1245	880
浴室	215	160
その他病棟内	1935	1455
手術室	1156	792
分娩室	41	35
ICU	1993	1104
CCU	329	355
NICU	691	421
その他の集中治療室	735	489
検査室	941	610
機能訓練室	139	130
IVR治療室	19	9
放射線撮影室・検査室	644	461
核医学検査室	37	29
放射線治療室	51	32
透析室	409	194
薬局・輸血部	1711	1485
栄養管理室・調理室	377	212
トイレ	414	251
廊下	497	272
階段	14	9
不明	240	71
その他の場所(院内)	608	312
その他の場所(院外)	174	136
合計	51119	33524

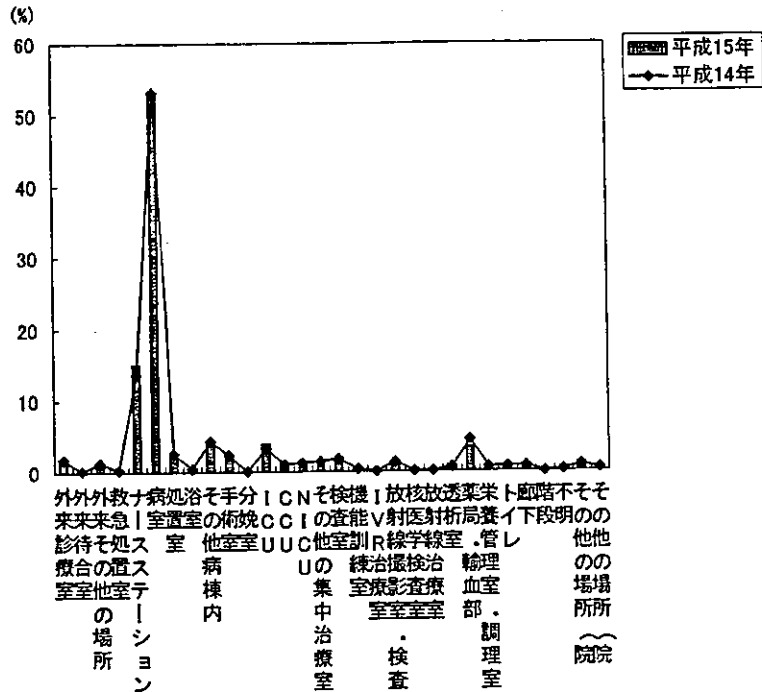


図1-5. 患者の性別(全事例)

性別	平成15年	平成14年
男性	25041	16000
女性	19320	12028
患者複数	333	168
不明	6425	5328
合計	51119	33524

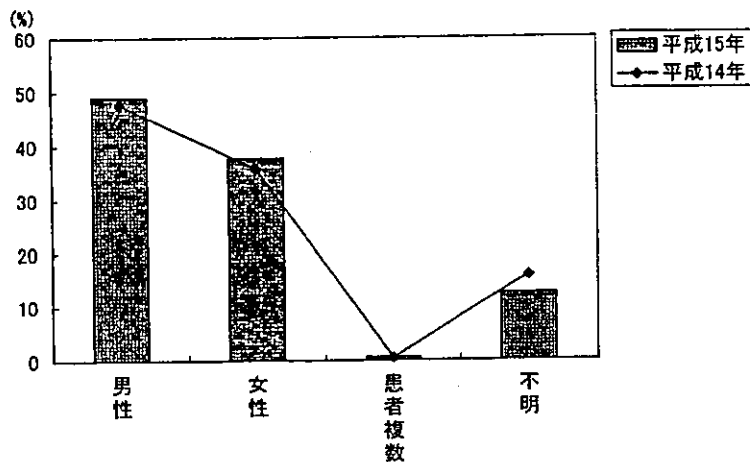


図1-6. 患者の年齢(全事例)

年齢	平成15年	平成14年
0~10歳	3623	2411
11~20歳	1358	1073
21~30歳	2059	1520
31~40歳	2474	1548
41~50歳	2913	1843
51~60歳	6246	3799
61~70歳	9105	5495
71~80歳	10395	5946
81~90歳	3774	2314
91~100歳	442	288
101~110歳	4	1
121~130歳	1	0
患者複数	327	161
不明	8398	7125
合計	51119	33524

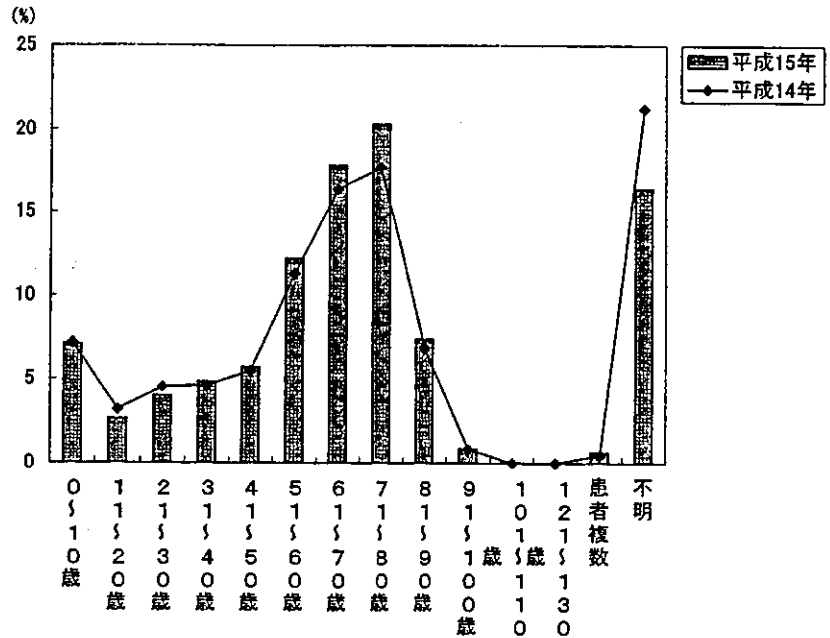


図1-7. 患者の心身状態(全事例)

(複数回答)	
平成15年	平成14年
4185	2678
1452	721
990	496
1100	696
2885	1750
3024	2083
3504	2251
5530	3294
6449	4063
8319	5033
1118	745
1496	1111
2617	1650
1404	889
13141	10782
9610	4147
4274	3393
71098	45782

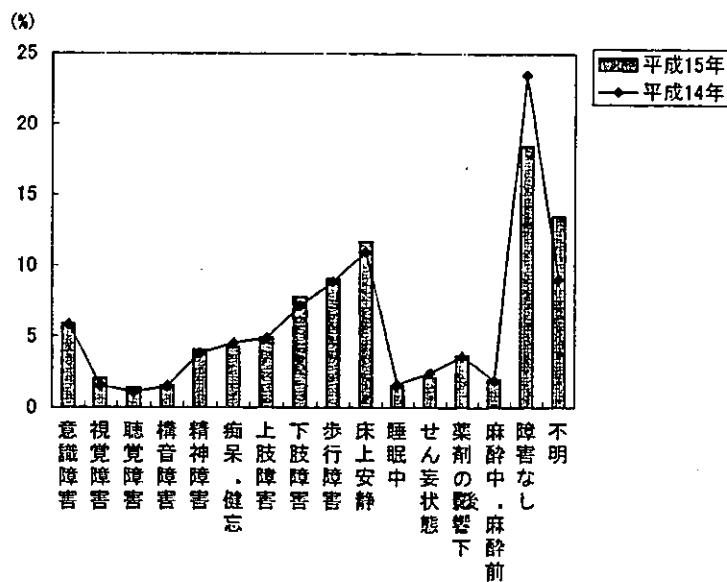


図1-8. 発見者(全事例)

発見者	平成15年	平成14年
当事者本人	23497	14439
同職種者	16614	10635
他職種者	5133	4325
患者本人	2222	1634
家族・付き添い	879	649
他患者	1040	728
不明	232	39
その他	1502	1075
合計	51119	33524

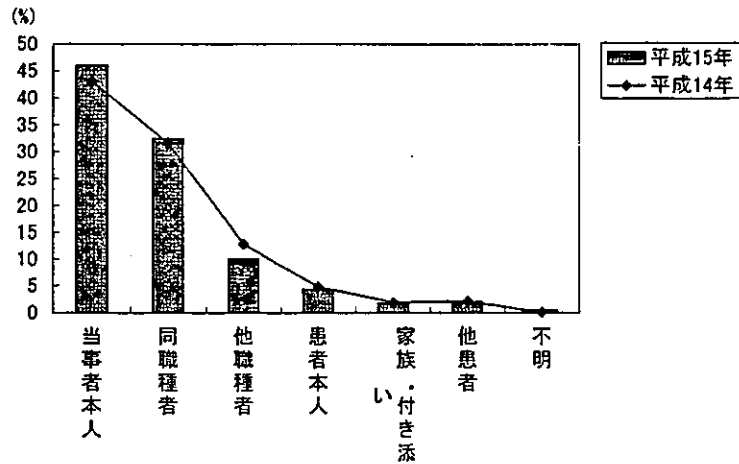


図1-9. 当事者の職種(全事例)

当事者の職種	平成15年	平成14年
医師	3340	1990
歯科医師	20	27
助産師	433	304
看護師	39974	26383
准看護師	1032	674
看護助手	300	196
薬剤師	1886	1615
管理栄養士	159	109
栄養士	177	116
調理師・調理従事者	676	516
診療放射線技師	477	327
臨床検査技師	837	568
衛生検査技師	4	4
理学療法士	133	121
作業療法士	41	20
言語聴覚士	3	5
歯科衛生士	4	4
歯科技工士	1	0
視能訓練士	8	1
精神保健福祉士	0	0
臨床心理士	1	3
社会福祉士	1	1
介護福祉士	1	0
臨床工学技師	68	61
児童指導員・保育士	21	31
事務職員	672	702
不明	645	159
その他	972	318
合計	51886	34255

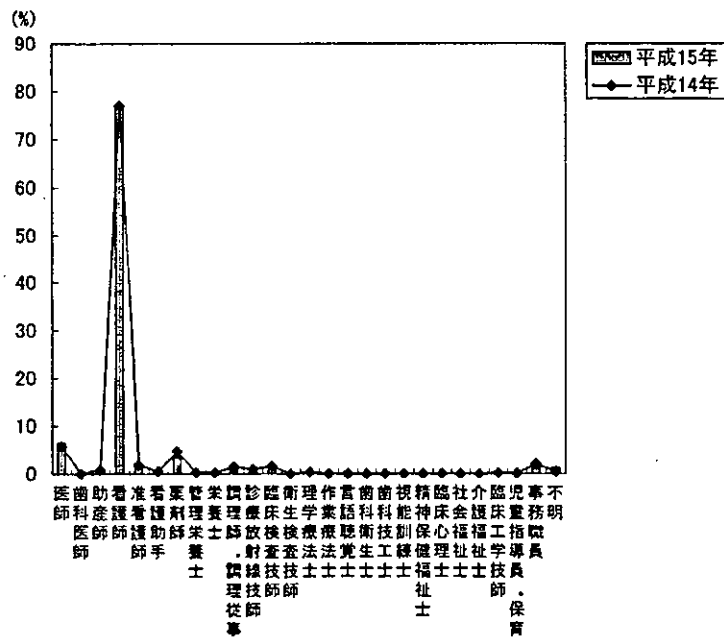


図1-10. 当事者の職種経験年数(全事例)

経験年数	平成15年	平成14年
0年	9422	6725
1年	5682	3254
2年	4075	2594
3年	3539	2220
4年	3076	1913
5年	2382	1622
6年	1682	1181
7年	1354	1016
8年	1186	806
9年	1116	790
10年	1057	878
11~20年	6483	5040
21~30年	4038	2954
30年超	533	417
当事者複数	1392	900
年数不明	3538	1214
その他	564	0
合計	51119	33524

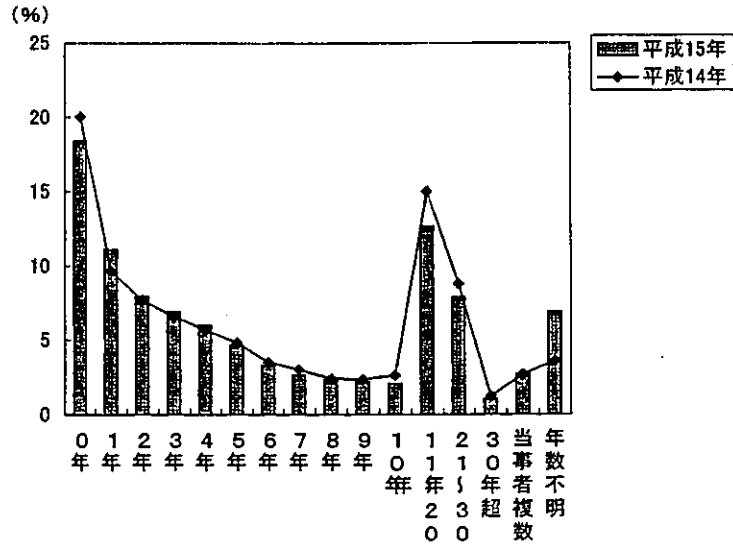


図1-11. 当事者の部署配属年数(全事例)

部署配属年数	平成15年	平成14年
0年	14999	11065
1年	8558	5397
2年	5862	3913
3年	4062	2903
4年	2796	2009
5年	1930	1359
6年	1204	825
7年	738	628
8年	539	393
9年	361	299
10年	357	294
11~20年	1167	1015
21~30年	774	660
30年超	38	39
当事者複数	1389	902
年数不明	5771	1823
その他	574	0
合計	51119	33524

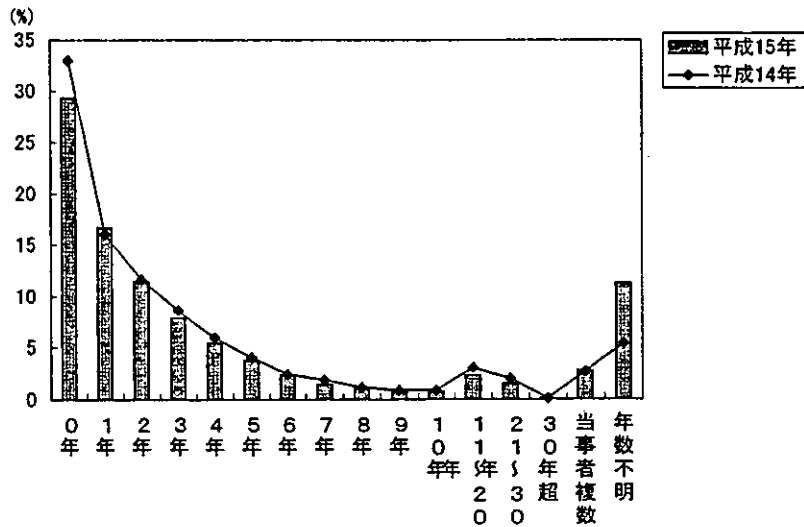


図1-12. 発生場面(全事例)

発生場面	平成15年	平成14年
オーダー・指示出し	752	442
情報伝達過程	1692	829
与薬準備	1611	1340
処方・与薬	13716	10367
調剤・製剤管理等	2346	1664
輸血	412	316
手術	644	474
麻酔	66	75
出産・人工流産	23	18
その他の治療	341	225
処置	498	308
診察	143	85
医療機器等の使用・管理	1620	1070
ドレーン・チューブ類の使用・管	7155	4663
検査	3673	2423
療養上の世話	4010	2861
給食・栄養	1732	1163
その他の療養生活の場面	6274	3800
物品搬送	41	42
放射線管理	14	17
診療情報管理	975	810
患者・家族への説明	304	176
施設・設備	111	71
その他	2966	285
合計	51119	33524

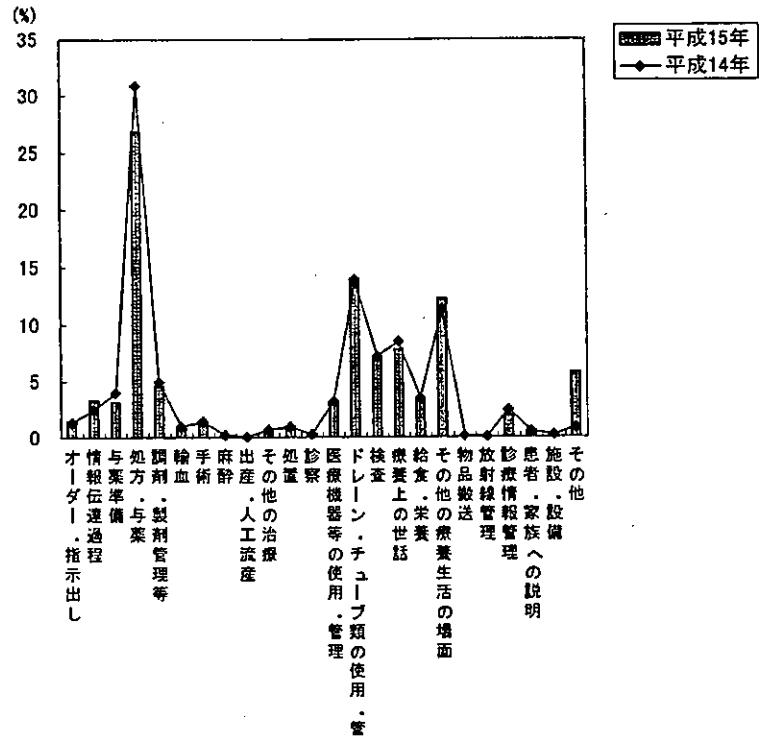


図1-13. 発生要因(全事例)

(複数回答)

発生内容	平成15年	平成14年
確認	31077	20835
観察	12284	7479
判断	6731	4348
知識	2274	1462
技術	1473	865
報告等	1157	733
身体的条件	1053	654
心理的条件	9239	5511
システム	1247	1108
連携	4944	3927
記録等の記載	761	565
患者の外見(容姿・年齢)	197	169
勤務状況	8021	6191
環境	351	262
医療機器・器具・医療材料	637	580
薬剤	889	1018
諸物品	247	263
施設・設備	111	96
教育・訓練	1407	1404
患者・家族への説明	4082	2766
その他	2348	823

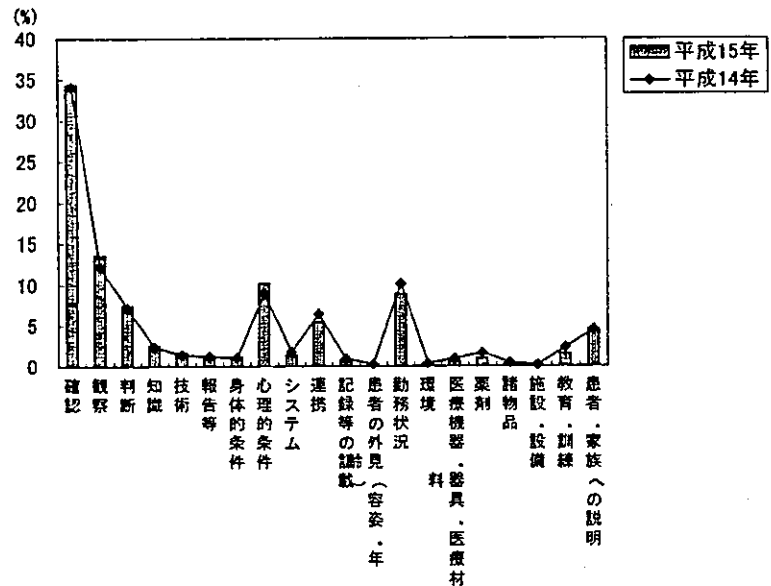


図1-14. 影響度(全事例)

間違いの実施の有無及びインシデントの影響度	平成15年	平成14年
患者への影響は小さい(処置不要)	8814	7107
患者への影響は中等度(処置必要)	2419	1438
患者への影響は大きい(生命に影響しうる)	509	358
間違いが実施されたが患者に影響なし	35986	21535
不明	430	97
その他	2961	2989
合計	51119	33524

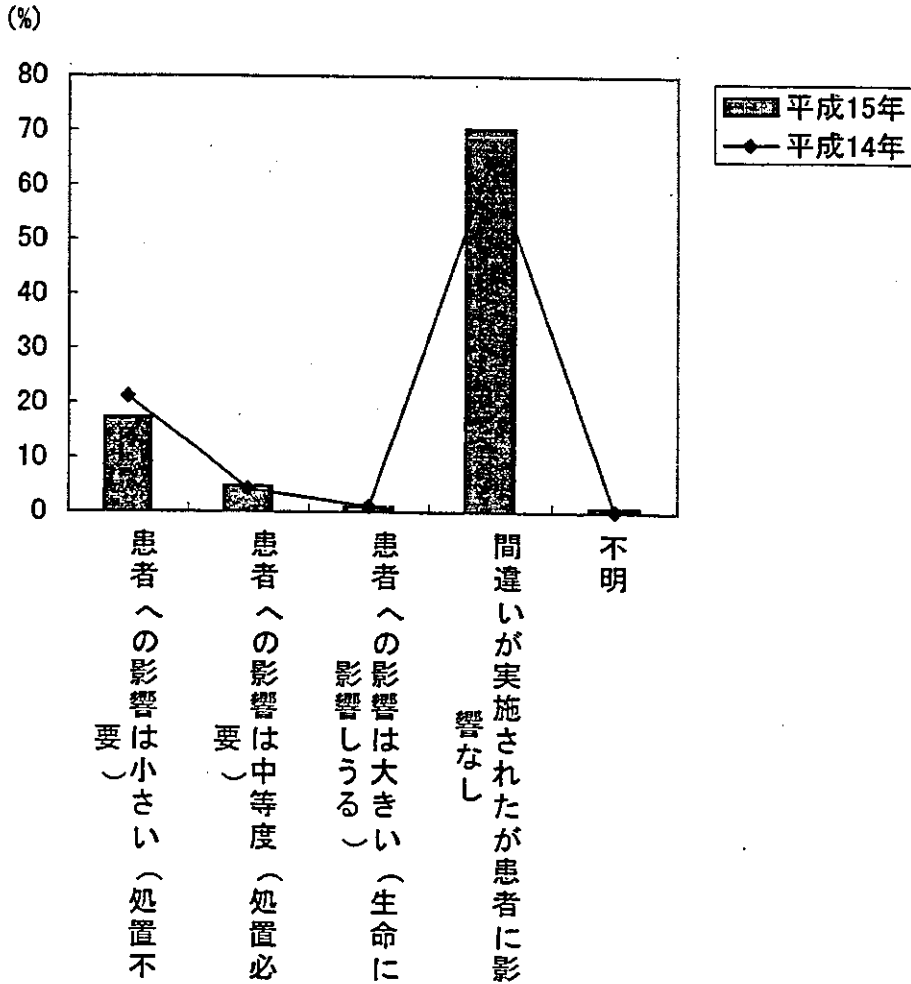




表1-1. ヒヤリ・ハットの発生要因・詳細(全事例)

要因	要因詳細	件数	要因	要因詳細	件数
確認	確認が不十分であった	31077	医療機器・器具・医療材料	(医療用具)欠陥品・不良品だった	74
観察	観察が不十分であった	12284		(医療用具)故障していた	68
判断	判断に誤りがあった	6731		(医療用具)複数の規格が存在した	26
知識	知識が不足していた	2070		(医療用具)扱いにくかった	30
	知識に誤りがあった	204		(医療用具)配置が悪かった	56
技術	技術(手技)が未熟だった	976		(医療用具)数が不足していた	14
	技術(手技)を誤った	497		(医療用具)管理が不十分だった	315
報告等	忘れた	389		機器誤作動	54
	不十分であった	551		薬剤を入れる容器が似ていた	58
	間違いであった	74		薬剤の色や形態が似ていた	71
身体的条件	不適切であった	143	薬剤名が似ていた	202	
	寝不足だった	559	複数の規格が存在した	201	
	体調が不良だった	457	配置が悪かった	77	
心理的条件	眠くなる薬を飲んでいて	37	管理が悪かった	189	
	慌てていた	2817	薬剤の性質上の問題	40	
	イライラしていた	240	薬効が似ていた	45	
	緊張していた	334	薬剤の略号が似ていた	6	
	他の事に気をとられていた	1759	諸物品	(諸物品)欠陥品・不良品	14
	思い込んでいた	3150		(諸物品)故障していた	9
	無意識だった	939		(諸物品)複数の規格が存在した	9
システム	連絡・報告システムの不備	342		(諸物品)扱いにくかった	10
	指示・伝達システムの不備	473		(諸物品)配置が悪かった	75
	コンピュータシステムの不備	91	(諸物品)数が不足していた	8	
	作業マニュアルの不備	341	(諸物品)管理が不十分だった	122	
連携	医師と看護師の連携不適切	1343	施設・設備	電気系統	27
	医師と技術職の連携不適切	73		空調	10
	医師と事務職の連携不適切	39		衛生設備	6
	医師間の連携不適切	170		通信設備	6
	看護職間の連携不適切	2888		昇降設備	2
	技術職間の連携不適切	107		施設構造物に関する問題	60
	多職種間の連携不適切	324		教育・訓練が不十分だった	1226
記録等の記載	字が汚かった	49	教育・訓練	マニュアルに不備があった	173
	小さくて読みにくかった	76		カリキュラムに不備があった	8
	記載形式が統一されていなかった	78		患者・家族への説明	説明が不十分であった
	記載方法がわかりにくかった	245	説明に誤りがあった		87
患者の外見	記載漏れ	313	その他	患者・家族の理解が不十分であった	1957
	患者の外見(容貌・年齢)・姓名の	197		その他	2348
勤務状況	多忙であった	4282	その他		
	勤務の管理に不備	94			
	作業が中断した	374			
	当直だった	107			
	当直明けだった	35			
	夜勤だった	2912			
	夜勤明けだった	217			
環境	災害時だった	0			
	緊急時だった	74			
	コンピュータシステムのダウン	9			
	照明が暗かった	206			
	床が濡れていた	62			

表1-2. 発生場面×発生内容(全事例)

	資料 伝達過程 に関する項目	診療 に関する項目 に 関する 他の 治療 、 処置	処方・与薬	調剤・製剤管理 等	薬剤・血液製剤管理	(輸血)輸血検査	病(輸血)血液製剤への放 射線照射	作 業 用 具 (機 器) の 誤 操	保下 し 、 管 理 、 チ ュー ブ 類 の	検 査	の 療 養 上 の 世 話 、 療 業 生 活	搬 送 、 移 送	自己 管 理 薬	無 断 外 出 、 外 泊	療 業 上 の 世 話 、 療 業 生 活 の エ ン ゲ ー ジ ン グ	給 食 、 栄 養	物 品 搬 送	放 射 線 管 理	診 療 情 報 管 理	患 者 、 家 族 へ の 説 明	施 設 、 設 備	そ の 他	合 計
オーダー指示出し	715	1	12	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	20	0	0	0	0	0	1	751
情報伝達過程	1563	12	33	0	0	1	0	0	0	7	1	1	0	0	2	8	0	0	14	25	0	6	1693
与薬準備	5	4	1559	11	8	0	0	2	1	0	1	0	8	0	1	0	1	0	0	2	0	8	1611
処方・与薬	80	9	13492	19	7	0	0	7	54	3	1	0	17		1	0	0	0	3	13	0	10	13716
調剤・製剤管理等	3	0	92	1579	658	0	1	3	4	0	1	0	0		0	0	0	0	0	1	0	3	2345
輸血	1	1	4	0	0	90	308	0	4	1	0	0	0		0	0	1	0	0	0	0	2	412
手術	12	603	0	0	2	0	0	5	1	1	1	2	0		1	1	2	0	3	5	0	6	644
麻酔	0	64	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	66
出産・人工流産	0	22	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	23
その他の治療	7	266	21	0	1	0	0	13	2	2	9	1	0		1	1	0	1	5	3	0	9	342
一般的処置	4	245	19	0	0	0	0	2	11	3	3	0	0		4	0	0	1	0	0	0	7	299
救急処置	1	168	13	0	0	0	0	1	1	3	3	0	0		2	1	0	0	1	0	0	6	200
診察	1	126	1	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0		0	0	0	0	7	2	1	1	144
医療用具(機器)の使用・管理	2	5	9	0	0	0	0	1579	14	1	1	0	0		2	0	0	0	0	0	0	5	1620
ドレーン・チューブ類の使用・管理	2	3	26	2	5	0	0	7	7087	0	2	0	0		3	81	0	0	0	0	0	9	7227
(検査)検体採取	25	3	0	0	0	0	0	1	0	1660	1	0	0		1	1	1	0	0	9	0	5	1706
(検査)生理検査	2	0	0	0	0	0	0	0	0	203	4	0	0		1	2	0	0	0	1	0	1	217
(検査)画像検査	17	7	2	0	1	0	0	4	9	577	5	2	0		11	11	1	0	1	10	0	5	652
(検査)内視鏡検査	4	1	2	0	0	0	0	3	0	88	0	0	0		1	1	0	0	2	3	0	1	106
(検査)機能検査	12	5	2	0	0	0	0	0	0	954	2	1	0			1	1	0	1	11	0	2	992
療養上の世話	1	17	4	0	0	0	0	4	16	1	2983	79	119	113	639	9	1	0	0	9	1	14	4010
給食・栄養	4	0	0	0	0	0	0	0	7	0	6	0	1	0	2	1709	0	0	1	0	0	2	1732
その他の療養生活の場面	3	4	8	0	0	0	0	2	12	1	5243	13	127	271	536	1	0	0	2	10	9	32	6274
物品搬送	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	38	0	0	0	0	0	2	41
放射線管理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	14	0	0	0	0	0	14
診療情報管理	5	6	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0		0	0	0	0	949	1	2	9	975
患者・家族への説明	5	2	1	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0		2	2	0	0	1	283	1	3	304
施設・設備	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	4	0	0		0	0	0	0	0	0	102	2	110
その他	14	53	296	16	3	0	11	27	77	14	164	1	1	6	11	32	3	0	9	1	4	2150	2893
合計	2508	1627	15598	1628	685	91	320	1661	7300	3525	8443	100	273	394	1208	1881	49	15	1000	389	123	2301	51119

表1-3. 発見者×当事者の職種(全事例)

	当事者本人	同職種者	他職種者	患者本人	い家族・付き添	他患者	不明	その他	合計
医師	1926	394	755	85	39	10	27	104	3340
歯科医師	10	4	2	3	1				20
助産師	181	195	23	33	10		2	9	433
看護師	19742	14532	2022	1307	673	973	141	584	39974
准看護師	470	408	76	31	17	14	2	16	1032
看護助手	107	66	83	21	4	4	2	13	300
薬剤師	291	451	752	282	45	1	11	53	1886
管理栄養士	8		49	77	13		1	11	159
栄養士	24	1	70	65	13		1	3	177
調理師・調理従事者	41	14	301	278	36	2	1	3	676
診療放射線技師	220	49	169	15	5	1	1	17	477
臨床検査技師	284	259	244	15	2	2	4	27	837
衛生検査技師	1	1	2						4
理学療法士	89	13	11	2	6	4	1	7	133
作業療法士	24	7	6	2		1		1	41
言語聴覚士	2			1					3
歯科衛生士	2		1	1					4
歯科技工士	1								1
視能訓練士	2	3	1	2					8
精神保健福祉士									0
臨床心理士	1								1
社会福祉士	1								1
介護福祉士	1								1
臨床工学技士	29	11	18	1		1	1	7	68
児童指導員・保育士	8		9	2	1		1		21
事務職員	37	12	573	19	4	1	7	19	672
不明	125	246	68	27	19	18	40	102	645
その他	64	111	83	38	12	10	3	651	972
合計	23871	16775	5318	2307	900	1042	248	1627	51886

表1-4. 当事者の職種×発生場面(全事例)

	オーダー・指示出し	情報伝達過程	与薬準備	処方・与薬	調剤・製剤管理	輸血	手術	麻酔	出産・人工流産	その他の治療	処置	診察	医療機器の使用・管理	使用・管理 ドレシーン・チューブ類の	検査	療養上の世話	給食・栄養	その他の療養生活の場面	物品搬送	放射線管理	診療情報管理	患者・家族への説明	施設・設備	その他	合計	
医師	354	122	29	566	51	78	185	46	2	34	83	50	88	129	290	29	7	49	1	2	67	60	5	1033	3340	
歯科医師	1	1		6			3			1	1	1	1	1				1				1			20	
助産師	5	38	23	132	7	3			12	2	8	1	27	54	38	17	18	22			9	2	1	14	433	
看護師	340	1449	1421	12257	722	276	484	21	7	214	390	64	1356	6727	2178	3602	740	5579	21	5	281	208	51	1803	39974	
准看護師	6	47	60	311	24	1	6			2	15	14	50	85	77	117	21	142	1		19	11	4	19	1032	
看護助手	6	6	3	51	6	2	5				1	3	9	27	20	85	41	19	13		5	2	4	12	300	
薬剤師	7	15	26	244	1510	10							1	1		1	2	2	1		2	3	1	60	1886	
管理栄養士	1	1															152						1	4	159	
栄養士	8	3														5	158						1	2	177	
調理師・調理従事者	15	4														5	814	2						6	30	676
診療放射線技師	18	21		7	1				15				13	18	319	7	1	5		7	23	4	2	16	477	
臨床検査技師	1	14			6	40	1				1		6	1	710	4		1		1	17	3	4	27	837	
衛生検査技師						1									3										4	
理学療法士		5		1					55				1	2		34		28			2			1	4	133
作業療法士		3							11							7		14			1	1	1	1	3	41
言語聴覚士									1							1										3
歯科衛生士				1					1				1		1											4
歯科技工士									1																	1
視能訓練士	1														4											1
精神保健福祉士																										1
臨床心理士																										1
社会福祉士					1																					1
介護福祉士									7				42	7	3											1
臨床工学技士				2			2																4		68	
児童指導員・保育士				3									1			8	2	7								21
事務職員	4	13		6		1	1			2		7	2		27	5	9	3			550	11	7	24	672	
不明	10	5	25	127	15	9	1			1		4	23	42	47	45	23	144			13	1	14	96	645	
その他	20	19	36	152	38	10	21	1	3	3	2	1	30	105	46	83	44	281	4		21		6	37	963	
合計	797	1766	1623	13866	2381	431	689	68	24	350	503	147	1651	7199	3765	4035	1832	6300	41	15	990	305	112	2987	51877	